

目黒区立学校授業スペシャリストお薦めの家庭学習例

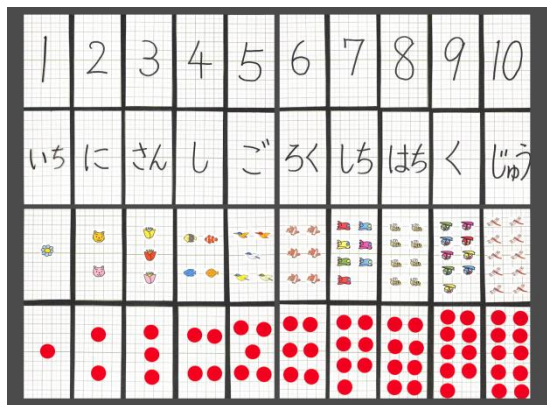
小学校算数科

「数と計算」 第1～6学年

1. トランプ (カード)

オリジナルカードを作り、おうちの方と一緒に遊びながら学びましょう。低学年、中学年、高学年向けに3種類示します。どれもカード40枚とペンがあればできます。ここでは工作用紙を用いてカードを作成し、遊ぶ方法を紹介します。

(1) 低学年

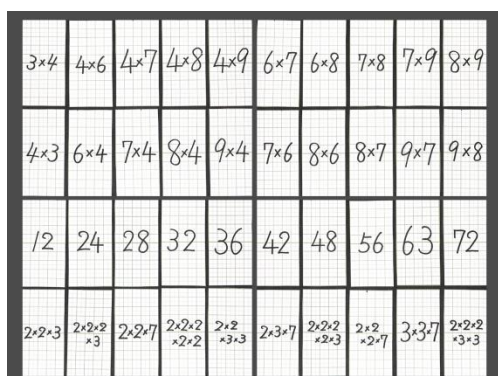


- 1～10の数字をかく
- 1～10のよみをかく
- 1～10の具体物をかく
左のようにシールでもよいと思います。
- 1～10の丸をかく
丸シールを貼るのもよいと思います。

(遊び方)

トランプのババ抜き等と同じルールで遊べます。いろいろ試してみましょう。

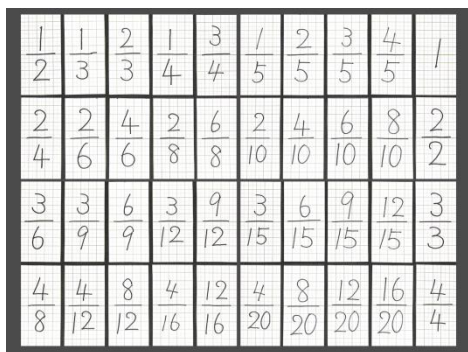
(2) 中学年



かけ算九九に慣れる目的で作成したものです。かけ算九九で間違えることが多いものを中心にカードを作るなど、自分がかんばりたいところを書いてください。

- ① 8×6(間違いやすいかけ算)
- ② 6×8(①の「かける数」と「かけられる数」を入れ替えたかけ算)
- ③ 48(答え)
- ④ 2×2×2×2×3(③を1以外のできるだけ小さい数だけで作ったかけ算の式)

(3) (中学年) 高学年



同じ値を表す分数4枚×10セット作成します。

左は基本バージョンです。

このカードで遊ぶと、通分や約分が自然と身に付きます。同じ値を表す分数のバージョンをいろいろ作って遊んでみましょう。

(2)と(3)もトランプのババ抜き等と同じルールで遊ぶことができます。ただし、7ならべや、スピードなど順番性のあるものにはおいていません。

2. 九九パズル 中学年、高学年

<用意するもの> 厚紙（工作用紙）1枚、ペン、はさみ、のり

<作り方>

- ① 工作用紙を 20 cm×20 cmに 2 枚切り取り、縦横 2 cm 幅でペンで直線を引く。
- ② 一方に九九表をかく（お家の方がかける数とかけられる数を書いて、子どもが表を完成させる）
- ③ ②のお家の方が書いた部分 A と子どもが書いた部分 B をはさみで切り離す。
- ④ A を①で作った線だけの板にのりて貼る。
- ⑤ B を線に沿って好きなパーツにはさみで切り離す。

① (4)

X	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

③

X	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1									
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

⑤

1	2	3	4	5	6	7	8	9
2		6	8	10	12	14	16	18
	4			15	18	21	24	27
3	6	9	12	16	20	24	28	32
	8			20	24	28	32	36
4			12		30	35		45
5	10		15	20	25			54
	12		24				40	
6				30	36		48	
7	14	18	28	35	42	49	56	63
8		21		40	48	49		72
	16	24	32	45	48	56	64	
9	18	27	36	45	54	63	72	81

<遊び方>

⑤のピースをバラバラにシャッフルして④の板に元通りに並べます。

元通りに完成するまでのタイムを競ったり、かける数とかけられる数をランダムにして作成したりするなど工夫してみてください。